

(ウ) 希望研修

a 概要

教職教育課の希望研修講座

講座 番号	対象・定員・実施日	内容・講師等
77	高等学校等マネジメント研修講座	
	高 30人程度 全8日 6月25日(水) 6月26日(木) 7月10日(木) 9月10日(水) 10月1日(水) 10月2日(木) 11月6日(木) 12月18日(木)	学校教育に関する法規、組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上に資することを目的とします。8回にわたる本研修と学校での実践経験を通して、教育活動を多角的に問題意識を持って考察し、第8日に「私がつくりたい未来の学校」と題し、受講者がつくりたい未来の学校についてのビジョンを発表していただきます。 講義「生徒を主語にした学校をつくる」 独立行政法人教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己 講義・演習「学校ビジョンの構築」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学 教授 浅野 良一 講義・演習「新しい学びの推進」 学校法人桐蔭学園 理事長 溝上 慎一
78	学校組織マネジメント(基礎)研修講座	
	※令和7年度は実施しない。学校組織マネジメント(発展)研修講座の隔年実施とする。	
79	学校組織マネジメント(発展)研修講座	
	小中高特 50人 8月18日(月)	学校ビジョンの役割と構成要素(めざす姿、力の入れどころ、行動規範等)について解説します。演習では、学校の戦略マップを各自作成し、意見交換しながらマネジメント力の向上を図ります。 講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学 教授 浅野 良一
80	帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座	
	小中高特 100人 8月19日(火)	日本語指導の在り方や今日の課題について、専門家による講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表・演習を通して、日本語指導の授業改善や教材作成に役立つ視点を養い、指導力の向上を図ります。 講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導ーことばの力を知り、育てる教育へー」 筑波大学 准教授 澤田 浩子
81	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育研修講座	
	小中高特 80人 7月9日(水)	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。 講義「『自ら問い、考え、語る』これからの道徳教育」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次
82	自治的能力を育む特別活動研修講座	
	小中高特 80人 7月30日(水)	文部科学省の教科調査官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生方の実践を共有し、協議を行うことで、自治的能力を育むために大切なことについて理解を深めます。 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 和久井 伸彦

教科教育課の希望研修講座

83	こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座	
	小特 60人 第1日 共通：8月19日(火) 第2日 Ⅰ期：2月13日(金) Ⅱ期：2月17日(火)	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について学び、国語科学習指導における授業力の向上を目指します。昨年度同様、事前提出課題の共有や演習等を通して、単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化の具体について探究し、確かな授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎

84	生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン研修講座	
	中高特 30人 第1日 8月4日（月） 第2日 2月3日（火）	生徒が探究的に学ぶ授業デザインについての講義・研究協議・演習を通して自らの授業構想の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ります。第1日は、事前に構想した授業について指導と評価の一体化を意識して授業の構想を具体化します。第2日は、各校で実践した成果と課題を共有し、研究協議を通して授業改善へ向けた今後の課題を明確にしていきます。提出課題・実践があります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン」 文教大学 教授 藤森 裕治
85	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）	
	小中高特 計56人 A班（小）20人 B班（中）24人 C班（高）12人 第1日 A班：9月5日（金） B班：9月19日（金） C班：9月16日（火） 第2日 全班：2月13日（金）	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を目指します。第1日は地理的分野を中心に、国土地理院での所外研修を行います。第2日は各校での授業実践事例の提示や研究協議を通して、実践的な指導力の向上を図ります。 A班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大妻女子大学 教授 澤井 陽介 B班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 玉川大学 教授 樋口 雅夫 C班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大正大学 教授 中嶋 則夫 全班：講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 早稲田大学 教授 藤井 千春
86	シティズンシップ教育研修講座	
	小中高特 45人 8月20日（水）	社会科、地理歴史・公民科を中心としたシティズンシップ教育を教科等横断的に実施していくための講義や実践発表、演習（模擬裁判等）、研究協議を通して、児童生徒の市民性を育成するために必要な資質と指導力の向上を目指します。 講義・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育」 筑波大学 教授 唐木 清志
87	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（算数・数学）	
	小中高特 計64人 A班（小）32人 B班（中）16人 C班（高）16人 第1日 A班：9月11日（木） B班：9月19日（金） C班：9月16日（火） 第2日 A班：2月17日（火） B班：2月5日（木） C班：2月12日（木）	講義・演習を通して、指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について理解を深めます。また、授業立案・実践・発表・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図ります。提出課題・実践があります。 A班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する算数科学学習指導の在り方」 NPO法人エデュ・ネットワーク・ブラン 代表理事 齊藤 一弥 講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 明星大学 客員教授 細水 保宏 B班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学学習指導の在り方」 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」 文部科学省初等中等教育局 視学官 水谷 尚人 C班：講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学学習指導の在り方」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉 講義・研究協議「数学科における探究的な学び」 東京学芸大学 教授 西村 圭一
88	「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上研修講座	
	小中高特 90人 8月20日（水）	算数・数学教育に関する講義及び実践発表と研究協議を通して、「データ」を活用・分析した授業づくりの視点について理解するとともに、授業力の向上を図ります。 講義「『データ』を活用・分析する力を育む授業改善」 大学教授等
89	小学校理科観察・実験研修講座	
	小特 48人 7月29日（火）	小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図ります。観察・実験・研究協議を行い、理科の楽しさを実感していきます。 観察・実験・研究協議「基礎から学ぶ理科の観察・実験」（4領域）

90	思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験研修講座	
	中高特 48人 8月19日（火）	観察・実験・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図ります。 観察・実験・研究協議「エネルギー領域・粒子領域・生命領域・地球領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」
91	音楽科授業づくり研修講座	
	小中高特 計65人 A班（小） 40人 B班（中・高）25人 A班：7月28日（月） B班：1月30日（金）	A班：午前は、打楽器を活用した授業づくりについて実践発表や簡単な実技研修を通して考えていきます。 午後は、児童の気付きを大切にした授業づくりについて講師の講義等から学びます。 B班：午前は、複数の領域や分野を関連させた授業づくりについて実践発表や受講者同士の対話を通して考えていきます。午後は、音楽科における著作権について講師の講義等から学びます。 A班：講義・実技「“教える”から“子どもが学びを深める”授業づくりの工夫」 筑波大学 非常勤講師 平野 次郎 B班：講義・研究協議「音楽教育と著作権」 元東京学芸大こども未来研究所 教育支援フェロー 原口 直 （協力：出張講座JASRACラーニングスクエア）
92	我が国の伝統音楽研修講座	
	小中高特 計25人 箏コース 20人 三味線コース 5人 第1日 8月21日（木） 第2日 8月22日（金）	児童・生徒が我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わうことができる授業づくりについて考えていきます。実技研修では箏コース、三味線コースに分かれて基礎・基本を学びます。全コース共通の内容として、我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりについて、講師による講義、実践発表、受講者のグループでの授業プラン検討を通して学びます。※実技研修は、初心者及び初級者を対象とした内容です。 講義・鑑賞「和楽器を用いた表現」実技「箏の奏法」「三味線の奏法」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師 講義・研究協議「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの工夫」 玉川大学 教授 清水 宏美
93	図画工作・美術科授業づくり研修講座	
	小中高特 各班25人 第1日 共通：7月23日（水） 第2日 A班：8月19日（火） B班：8月21日（木）	第1日は、茨城県近代美術館での所外研修です。展覧会で対話型鑑賞の演習をしながら、美術館と連携した授業づくりについて学びます。第2日は、研修センターで作品づくりをしながら、表現と鑑賞を関連させた授業づくりについて考えていきます。 講義・研究協議「これからの社会を生きるこどもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育」 奈良教育大学 教授 竹内 晋平
94	ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座	
	小中高特 40人 7月3日（木）	昨年度と同様、体育・保健体育のエキスパートである細越淳二先生の講義をヒントに、学習指導要領の主旨をふまえ、受講者同士のアイデアを結集した授業づくりを通して、体育・保健体育の授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 国土館大学 教授 細越 淳二
95	みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり研修講座	
	中特 25人 8月21日（木）	昨年度と同様、技術・家庭科（技術分野）の現状と課題について、講義・演習などを通して学び、これからの未来を創る「Technology」の授業について考えていきます。 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 渡邊 茂一
96	できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座	
	小中特 30人 高特 15人 8月20日（水）	昨年度と同様、児童生徒の「できるがいっぱい！」を実現する、家庭科の授業づくりについて一緒に考えていきます。午後は校種別の部会で、実践発表や演習などを通して、授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの家庭科の授業づくり」 茨城大学 教授 佐藤 裕紀子
97	英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座	
	小中特 80人 10月8日（水）	小・中学校の外国語活動・外国語（英語）科において、言語活動を通して児童生徒の英語発信力の向上を目指す、実践的指導力の向上を図ります。 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省初等中等教育局調査官 早川 優子

98	自ら問いを立て探究する英語科研修講座	
	中高特 20人 第1日 7月2日（水）	「研修観の転換」に基づいた、受講者を主語とした講座です。経験から生じる「問い」より自身の課題を設定し、集合型研修のよさを生かした対話や協働を取り入れながら、探究的に授業改善を進めます。第2日の前には、実践の共有に向けた課題提出があります。
	第2日 12月12日（金）	演習・研究協議「実践の振り返りと課題の設定」、「行動計画の立案」 研究協議「実践の共有と省察」
99	夏季自然体験活動研修講座	
	小中高特 24人 A班：7月31日（木）	自然博物館における動物・植物・地学分野の観察、体験、博物館の活用事例の紹介、授業における博物館の利用など自然体験活動の充実について研修します。
		実習・講義「博物館を利用した理科教育」 ミュージアムパーク茨城県自然博物館職員
	小中高特 24人 B班：8月21日（木）	河川の上・中・下流域の様相の違いや水質調査等のフィールドワークを通して、体験的に環境教育について研修します。
		実習「河川観察等を通じた体験型環境教育」 茨城県霞ヶ浦環境科学センター職員
100	未来を創るSTEAM教育研修講座	
	小中高特 80人 第1日 8月5日（火）	多様な課題が生じ変化の大きい現代社会で必要とされる資質・能力を育む教育として、教科等を横断した「STEAM教育」が注目されています。本講座では、茨城県内で行われている小学校・中学校・高等学校の学校の具体的な実践例を紹介するとともに、子どもたちの探究心と新たな価値を創造する授業づくりを目指します。文系・理系や校種の枠を超えて、共に新しい学びを創り出しましょう。
	第2日 11月25日（火）	講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 白鷗大学 准教授 小川 博士
		講義・演習・研究協議「STEAM教育による創造的な学び」 東京学芸大学大学院 教授 大谷 忠
101	探究的な学びをデザインする研修講座～学校図書館、地域リソース等とともに～	
	小中高特 60人 第1日 7月30日（水）	探究的な学びの授業デザインを追究することを通して、持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する指導力の向上を図ります。第1日はJICA筑波で講義・実践発表・研究協議を通して探究的な授業デザインを具体化し、第2日では各校で実践した成果と課題を共有し、次年度以降の糧とします。課題提出・実践があります。
	第2日 1月30日（金）	講義・研究協議「探究的な学びを支える学校図書館」 放送大学 客員教授 堀川 照代
		講義・研究協議「探究的な学びにおける地域との連携」 東京都市大学大学院 教授 佐藤 真久

情報教育課の希望研修講座

102	体験する農業教育研修講座	
	小中高特 10人 10月2日（木）	茨城県農業の現状や概要を学ぶことは、地域の農業を知る機会となり、興味や関心を高めることにつながると考えています。今回はJ Aなめがたしおさいを舞台に、管内で栽培されている天皇杯受賞の「甘藷を軸とした魅力ある地域活性化の取組」の事例から、課題設定や問題解決のための戦略を学ぶことができます。また、収穫等の体験も予定しており、本講座で習得したことが、今後の探究的な学びの一助になればと期待しています。
		※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「茨城県農業の現状～甘藷の取組から学ぶ～」 J A中央会 担当職員 J Aなめがたしおさい 担当職員
103	体験する工業教育研修講座	
	小中高特 10人 10月2日（木）	工業とは、工業資源などの原材料を加工して付加価値を加えた製品を作る産業です。ひとつの製品を作るには最新の設備はもちろんのこと、効率的な生産方法、様々な技術やアイディアが必要となります。この講座では企業の生産現場で実際に行われている人材を育てる基礎研修を通して、ものづくりの技術やアイディアを体験することができます。この機会に、ものづくりの奥深さに触れてみませんか。
		※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「ものづくり人材育成の実際～ものづくり人材を育てる基礎研修の体験を通して～」 キャノン株式会社 ものづくり人材育成企画部 部長 池田 淳

104	体験する商業教育研修講座	
	小中高特 13人 9月19日（金）	本講座では、「商業」の学びに生かすための広い知見を得ることを目的として、スーパーマーケット「カスミ」本社および中央流通センターで、マーケティングと流通の実践について学びます。地域のライフラインを支えるスーパーマーケットの役割について、生活に身近な小売業と流通業のしくみを通して、貴重な体験から新たな視点とスキルが得られる講座です。この機会にぜひ、ビジネスや生活に必要な実践的な力となる「商業」の魅力に触れてみませんか。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社（株式会社カスミ人事付外向） デジタル本部 デジタル開発 ITサービス担当マネージャー 安藤 元一 講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実践」 株式会社カスミ 営業統括本部 SCM 池延 太実夫
105	ICTを活用した授業づくり研修講座	
	小中高特 各班50人 A班：7月23日（水） B班：7月24日（木） C班：7月25日（金）	全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて、ICT活用が必要不可欠なものとなっております。本講座は、教科・科目の目標を授業の軸におきながら、「文房具としてのICT活用」を合言葉に、9月以降実施する単元・題材の授業づくりとその協議を行い、実践的指導力の向上を図ります。 ※ 班ごとに演習に使用する授業支援ソフトやコースが異なります。ベーシックコース、アドバンスコース共に授業づくりを行います。ベーシックコースについては、選択した授業支援ソフトの基本操作についても取り扱います。申し込みの際は、下記から選択となります。 A班：Google Workspace for Educationのベーシックコース 又は SKYMENU Cloudのベーシックコース B班：Google Workspace for Educationのアドバンスコース 又は ロイロノート・スクールのベーシックコース C班：SKYMENU Cloudのアドバンスコース 又は ロイロノート・スクールのアドバンスコース
106	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座	
	小中高特 60人 8月20日（水）	今年度取り上げる教育課題は、「学校における生成AIの活用」です。GIGAスクール構想により1人1台端末が実現している現在において、ICTを効果的に活用し、多様な学びの場を一層充実させることが必要となっております。本講座では、学校現場においての生成AI活用の基本的な考え方や、事例を交えながらいかに推進していくかについて、講義、実践発表、演習、研究協議を通して学んでいきます。 講義「学校における生成AIの活用」 札幌国際大学基盤教育部 准教授 安井 政樹
107	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座	
	小中高特 45人 8月1日（金）	義務教育段階におけるプログラミング教育に関する知識と技術を習得し、指導力の向上を図ります。今年度は、小学校と中学校の実践発表の後、実習を2つ実施します。 ※ 小・中・高のつながりを意識して、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等が受講可能です。実習①及び実習②の各コースからそれぞれ一つずつ選択できます。義務教育段階でどのようなプログラミング教育に取り組んでいるかを理解し、小・中・高の連携を図っていきましょう。 実習① A（小学校 基礎）、B（小学校 基礎～発展）、D（中学校 技術分野 計測・制御） 実習② B（小学校 基礎～発展）、C（小学校 教科等横断的）、E（中学校 技術分野 双方向性）

教育相談課の希望研修講座

108	「不登校」を考える研修講座	
	小中高特 84人 9月3日（水）	講義・演習・研究協議を通して「不登校」について考えます。具体的な支援方法について交流し、明日からの教育活動に生かしましょう。令和3年度～令和5年度不登校対応研修講座、令和6年度「不登校」を考える研修講座を受講していない方が対象です。 講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 東京大学 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー 中邑 賢龍
109	思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座	
	小中高特 72人 10月15日（水）	自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期のこどもの特徴と適切な関わり方について学びます。そして、こどもや保護者の心に寄り添うためのソーシャルスキルを演習で体験し、今後の関わりに生かしましょう。令和4年度～令和6年度に受講していない方が対象です。 講義・演習「思春期のこどもの心の危機と向き合う」 東京都立大学 准教授 勝又 陽太郎

110	教育相談（初級）研修講座	
	小中高特 各班56人 第1日 A班：8月6日（水） B班：8月18日（月） 第2日 A班：12月10日（水） B班：12月12日（金）	講義・演習を通して、話を聴く態度や信頼関係を築く関わりについての理論や方法を学びます。さらに、実際の個別面接を想定したロールプレイを行い録音し研究協議を行い、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。全日程を受講できる方が対象です。A班かB班のいずれかを申込み時に選択してください。 第1日：講義・演習「教育相談の基礎」 茨城大学 名誉教授・特任教授 正保 春彦
111	教育相談（中級）研修講座	
	小中高特 40人 第1日 7月28日（月） 第2日 1月16日（金）	講義・演習や研究協議を通して、話し手の自己探索を支援する関わりについての理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。教育相談（初級）研修講座を修了している方で、全日程を受講でき、児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接をし、その録音と作成した逐語記録を持参することが可能な方が対象です。 第2日：講義・演習「教育相談の実践」 茨城キリスト教大学 教授 櫻井 由美子
112	教育相談（上級）研修講座	
	小中高特 24人 第1日 7月3日（木） 第2日 10月17日（金） 第3日 1月23日（金）	講義・演習や研究協議を通して、自立に導く関わりについての理論と方法を学び、学校における教育相談体制の中心となる資質・能力の向上を図ります。教育相談（中級）研修講座を修了している方で、全日程を受講でき、児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接をし、その録音と作成した逐語記録を持参することが可能な方が対象です。 第1日：講義・演習「教育相談の応用」 筑波大学 教授 杉江 征 第2日：講義・演習「教育相談の発展」 茨城大学 教授 生越 達
113	問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談研修講座	
	小中高特 72人 7月8日（火）	アサーションの理論と方法について講師の講義・演習から学び、授業や日々の関わりにどのように生かせるか一緒に考えましょう。午後は、グループアプローチの演習を通して、こどもを支える教育相談について理解を深めます。事前に動画を視聴してから受講してください。グループアプローチは構成的グループエンカウンターかクラス会議のいずれかを申し込み時に選択してください。 講義・演習「授業に生かすカウンセリング」 茨城キリスト教大学 教授 中島 美那子

特別支援教育課の希望研修講座

114	自立活動指導力向上研修講座	
	小中高 120人 第1日 8月21日（木） 第2日 12月4日（木）	第1日は、講義・演習、実践発表、プロセスシートの作成を通して、自立活動について学びます。第1日終了後、各学校において自立活動の実践を行っていただきます。第2日は、研究協議を通して各学校での自立活動の授業実践について情報共有を行います。また、演習を通して授業改善を目指し、自立活動の授業づくりについて考えます。2日間の研修と学校での自立活動の指導の実践を通して、自立活動の指導力向上を目指します。 第1日：講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 江東区立豊洲北小学校 統括校長 喜多 好一
115	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座	
	小中高特 140人 11月12日（水）	読み書き困難のある児童生徒の認知的背景や支援の在り方等について、講義や実践発表を通して理解を深めます。3つの分科会（①ひらがな・漢字の指導、②文・文章の指導、③アルファベット・英単語の指導）から2つ選択していただき、読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法について考えていきます。 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 筑波大学 助教 三益 亜美

116	通常の学級における特別支援教育研修講座 小中高 120人 9月11日（木） 通常の学級における多様なニーズのある児童生徒や、特別支援教育の視点を踏まえた学級経営について、講義・演習や実践発表を通して考えていきます。また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応に関して研究協議を行います。児童生徒への支援方法を考えたり、話し合ったりすることを通して、特別支援教育の理解を深めていきます。 講義・演習「通常の学級における特別支援教育」 ノートルダム清心女子大学 准教授 青山 新吾
117	特別支援教育の専門性を高めるための研修講座 小中高特 70人 第1日 7月23日（水） 第2日 11月18日（火） 第1日は、グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方についての講義・演習を通して、特別支援教育の方向性と課題について学びます。また、障害のある児童生徒を理解するためのアセスメントについて演習・研究協議を通して考えます。第2日は、運動や動作にぎこちなさのある子どもへのアプローチについて、講義・演習、実践発表や研究協議を通して理解を深めます。 第1日：講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」 特別支援教育ネット 代表 小栗 正幸 第2日：講義・演習「発達性協調運動症の理解と支援～運動や動作にぎこちなさのある子どもへのアプローチ～」 順天堂大学 准教授 村上 祐介